

2016年7月14日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部
社会福祉学科

大学生が地元の高齢者をモデルに生活介助の実技体験 高齢者介護体験を通じて交流を図る

中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）社会福祉学科（学科長 吉川 杉生）は介護福祉士を養成しており、1年生が生活介助を学んでいます。今回、8月に介護現場で行われる介護基礎実習を前に、**地元の高齢者の皆さんにモデルとなってもらい、高齢者介護体験を実施**します。

講義「生活支援技術Ⅰ」では、**衣類の着脱、ベッド上での移動、車いすへの移乗、車いす操作など、日常生活の介助**を学んでいます。高齢者介護体験では、関キャンパスに隣接する**向山団地長寿会に依頼**し、実際、**障がいのある高齢者モデル**として参加いただくことになりました。学生は生活介助の実技に臨み、**緊張感ある学びを体験**します。

また、介護体験後に、学生と高齢者が触れ合う交流会を設け、学生にとって**「話す力」を養う場として、コミュニケーション能力の向上を目指します**。

記

- 日時 2016（平成28）年7月19日（火）午後1時20分～同4時ごろ
- 場所 中部学院大学 関キャンパス 介護実習室（11204教室）
（関市桐ヶ丘二丁目1番地、TEL 0575-24-2211）
- 日程 13:20～14:50 生活支援技術Ⅰ（実技試験）
15:00～16:00 交流会
- モデル 関市向山団地長寿会 約10人
- 備考 介護基礎実習
（期間）8月29日（月）～9月9日（金）
（場所）県内外の高齢者介護施設、障がい者施設ほか

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 担当：高野 晃伸 准教授

TEL:090-8555-1784（関キャンパス）Mail : takano@chubu-gu.ac.jp